

事業報告

<研修名>

令和2年度 大分県社会教育主事専門研修会

<開催日時>

令和2年7月10日（金） 13:00~16:15

<会場>

県立図書館 視聴覚ホール、第2・3研修室

<参加人数>

24名（県：5名、市町村：19名）

<研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育のより一層の振興を目指し、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育主事を対象に、専門的教育職員としての知識・技能の向上を図る。

<研修内容>

※午前中に予定していた【研修1】は、講師（大牟田市三池地区公民館の西田久館長）が豪雨対応のために来県不可能となり、中止となりました。

【研修2】講義 「地域課題を認識し教育事業化する社会教育主事」

【研修3】討議 「社会教育主事として地域課題への取組を構想する」

講師：大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏

参加者には「社会教育主事として自らの業務や課題を振り返る」という事前課題が出され、それをもとに講義では社会教育主事として取り組むべき方向性について確認し、グループ討議では他者と課題や悩みを共有し、解決のための事業を構築する、という活動を行いました。「指導系職員」である社会教育主事の事業遂行にあたっての視点や方向性について考えるにあたり、「課題→講義→討議」という流れが、参加者にとって取り組みやすいものであったと高評価でした。

<当日の様子(写真)>

【開会行事】

開会挨拶 県立図書館
副館長兼学校・地域支援課長 森山 貴仁



【研修2】「地域課題を認識し教育事業化する社会教育主事」

大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏



【研修3】討議「社会教育主事として地域課題への取組を構想する」

大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏



<参加者感想>

- 各市の共通の悩みを共有する中で、解決に向けてのヒントを得ることができた。
- 研修で自分の意見を口にする中で、自分が根っ子で社会教育をどのように考えているか整理ができた。
- 様々な立場、状況の方々の話を聞くだけで、自分の中に新たな視点が生まれた。一人で考えるだけでは偏ったり一方的になったりすることに気が付くことができ、逆の立場や 発想で物事を考えることの大切さを実感した。
- ネガティブでなく、できるところからやっていく、具体的な方法に気づく研修だった。
- 討議では共通の事業について悩みの出し合いができ、他市町村のよい取組を知ることができた。今後も他市町村の方とのつながりをもっていきたいと感じた